

廃棄物データシート記入例

記入例 1 化学工業：廃液（ヘキサメチレンテトラミン）

< 表面 >

管理番号 ****-**-****

廃棄物データシート(WDS)

1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 年 月 日

記入者

1 排出事業者	名称	株式会社		所属	部	
	所在地	〒****-****	県 市	担当者	TEL	****-**-****
		町 丁目 番号			FAX	****-**-****
2 廃棄物の名称	廃液					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載)	主成分 ヘキサメチレンテトラミン 20~30% (全窒素濃度として ppm)			MSDSがある場合、CAS No.		
	他成分 ホルムアルデヒド ppm ナトリウム ppm 残りは水			ヘキサメチレンテトラミン 100-97-0		
<input checked="" type="checkbox"/> 分析表添付 (組成)	・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。					
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 特別管理 産業廃棄物	汚泥 廃油 <input checked="" type="checkbox"/> 廃酸 <input checked="" type="checkbox"/> 廃アルカリ (pHによる)					
	その他()					
5 特定有害廃棄物 ()には 混入有りは、 無しは×、混入の 可能性があれば 分析表添付 (廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×)		トリクロロエチレン (×)		1,3-ジクロロプロパン (×)	
	水銀又はその化合物 (×)		テトラクロロエチレン (×)		チウラム (×)	
カドミウム又はその化合物 (×)		ジクロロメタン (×)		シマジン (×)		
鉛又はその化合物 (×)		四塩化炭素 (×)		チオベンカルブ (×)		
有機燐化合物 (×)		1,2-ジクロロエタン (×)		ベンゼン (×)		
六価クロム化合物 (×)		1,1-ジクロロエチレン (×)		セレン (×)		
砒素又はその化合物 (×)		シス-1,2-ジクロロエチレン (×)		ダイオキシン類 (×)		
シアン化合物 (×)		1,1,1-トリクロロエタン (×)		1,4-ジオキサン (×)		
PCB (×)		1,1,2-トリクロロエタン (×)				
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当 非該当) 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 ヘキサメチレンテトラミン					
7 水道水源における 消毒副生成物 前駆物質	<input checked="" type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT)		1,1-ジメチルヒドラジン(DMH)			
	N,N-ジメチルアニリン(DMAN)		トリメチルアミン(TMA)		テトラメチルエチレンジアミン(TMED)	
	N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA)		ジメチルアミノエタノール(DMAE)		1,1-ジメチルグアニジン(DMGu)	
8 その他含有物質 ()には 混入有りは、 無しは×、混入の 可能性があれば 分析表添付(組成)	硫黄 (×)		塩素 (×)		臭素 (×)	
	ヨウ素 (×)		フッ素 (×)		炭酸 (×)	
硝酸 (×)		亜鉛 (×)		ニッケル (×)		
アルミ (×)		アンモニア (×)		ホウ素 (×)		
その他 ()						
9 有害特性 (有・無・不明)	爆発性		引火性()		可燃性	
	酸化性		有機過酸化物		急性毒性	
毒性ガス発生		慢性毒性		生態毒性		
				自然発火性()		
				感染性		
				重合反応性		
				禁水性		
				腐食性		
		<input checked="" type="checkbox"/> その他(皮膚腐食性、呼吸器感作性)				
10 廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(液状)		臭い()		色()	
	比重(約1.2)		pH(7程度)			
11 品質安定性	沸点()		融点()		発熱量()	
	粘度()		水分()			
12 関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭 <u>水質汚濁防止法指定物質</u>					
13 荷姿	容器()		<input checked="" type="checkbox"/> 車両(タンクローリー)		その他()	
14 排出頻度 数量	頻度(スポット)		継続予定()			
	(10)		kg(t) 日・m3・本・缶・袋・個 / (年) 月・週・日			

15 特別注意事項	<p>取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載</p> <p>(有・無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性 / 注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性 (消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等 <p style="color: red;">当廃液に含まれるヘキサメチレンテトラミンは、酸や塩素と反応しホルムアルデヒドとアンモニアになる。河川へ流出した場合水道水源に多大な影響を与えるため、焼却処理が望ましい。</p>
-----------	---

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有) 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

産業廃棄物の発生工程等 (有 無)

「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考
	令和 年 月 日	課	株式会社	株式会社にて収集運搬

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

記入例2 化学工業 引火性廃油

< 表面 >

管理番号 ****-**-****

廃棄物データシート(WDS)

- 1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
- 2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 年 月 日

記入者

1 排出事業者	名称	株式会社		所属	部		
	所在地	〒****-****	県 市	担当者	TEL	****-**-****	
		町 丁目 番号				FAX	****-**-****
2 廃棄物の名称	ヘキサン混合熱媒油						
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) 分析表添付(組成)	主成分 1.ジベンジルトルエン 70-90% 他 2.ヘキサン 30-10% *使用量からの推測量				MSDSがある場合、CAS No. 1.CAS 26898-17-9 2.CAS 110-54-3		
	・成分名と混合比率を書いて下さい。ぱらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。						
4 廃棄物の種類 産業廃棄物	汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ その他()						
	<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 引火性廃油(有害) 強酸 強酸(有害) 強アルカリ	強アルカリ(有害) 感染性廃棄物 PCB等 廃石綿等 指定下水汚泥	銻さい(有害) 燃えがら(有害) 廃油(有害) 汚泥(有害) 廃酸(有害)	廃アルカリ(有害) ばいじん(有害) 13号廃棄物(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは、無しは×、混入の可能性があれば 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) 水銀又はその化合物 (×) カドミウム又はその化合物 (×) 鉛又はその化合物 (×) 有機リン化合物 (×) 六価クロム化合物 (×) 砒素又はその化合物 (×) シアン化合物 (×) PCB (×)	(×)トリクロロエチレン (×)テトラクロロエチレン (×)ジクロロメタン (×)四塩化炭素 (×)1,2-ジクロロエタン (×)1,1-ジクロロエチレン (×)シス-1,2-ジクロロエチレン (×)1,1,1-トリクロロエタン (×)1,1,2-トリクロロエタン	(×)1,3-ジクロロプロパン (×) (×)チウラム (×) (×)シマジン (×) (×)チオベンカルブ (×) (×)ベンゼン (×) (×)セレン (×) (×)ダイオキシン類 (×) (×)1,4-ジオキサン (×)				
6 PRTR対象物質	届出事業所 (<input checked="" type="checkbox"/> 該当 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (<input checked="" type="checkbox"/> 該当 非該当) 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 *参考 ジビニルベンゼン 化審法: 第一種監視化学物質 ヘキサン-PRTR 1-392						
7 水道水源における消毒副生成物 前駆物質	ヘキサメチレンテトラミン(HMT) 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) N,N-ジメチルアニリン(DMAN) トリメチルアミン(TMA) テトラメチルエチレンジアミン(TMED) N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) ジメチルアミノエタノール(DMAE) 1,1-ジメチルグアニジン(DMGu)						
8 その他含有物質 ()には混入有りは、無しは×、混入の可能性があれば 分析表添付(組成)	硫黄 (×) ヨウ素 (×) 硝酸 (×) アルミ (×) その他 ()	塩素 (×) フッ素 (×) 亜鉛 (×) アンモニア (×)	臭素 (×) 炭酸 (×) ニッケル (×) ホウ素 (×)				
9 有害特性 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ・ 不明)	爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(-22)) 酸化性 有機過酸化化物 毒性ガス発生 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 その他()	可燃性 急性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生毒性	自然発火性() 感染性 重合反応性	禁水性 腐食性			
10 廃棄物の物理的性状・化学的性状	形状(液体) 臭い(ガソリン臭) 色(黒褐色) 比重(0.9-1) pH() 沸点(69) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()						
11 品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入						
12 関連法規	<input checked="" type="checkbox"/> 危険物(消防法) ・特化則(特定化学物質障害予防規則) ・有機溶剤 ・毒劇物 ・悪臭						
13 荷姿	容器() <input checked="" type="checkbox"/> 車両 (-石対応0-リ-) その他()						
14 排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) (10) kg () 日・m3・本・缶・袋・個 3回 / 年・日・週・日						

<p>15 特別注意事項</p> <p>(有・無)</p>	<p>取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 <ul style="list-style-type: none"> 強い引火性があり、静電気など火源にさらさない。 難分解性物質で漏らさない。 ・他の廃棄物との混合禁止 <ul style="list-style-type: none"> 酸化剤と混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ミストは着火、爆発 ・容器腐食性の可能性 / 注意点 <ul style="list-style-type: none"> 金属、ガラス容器使用。プラスチック、ゴム使用禁止。 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等 <ul style="list-style-type: none"> 漏れた場合に難分解性物質のため長く環境汚染となる。 ・取扱時必要な保護具 <ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤用保護マスク、ゴーグル型保護メガネ、耐油性ゴム手袋、耐油性長靴 ・応急処置 <ul style="list-style-type: none"> 吸入時 新鮮な空気のある場所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。 皮膚付着時 大量の水で洗い流し直ちに医師の手当てを受ける。 目に入った場合 清水で15分間洗い、直ちに医師の手当てを受ける。 飲み込んだ場合 大量の水を水を飲ませ、直ちに医師の手当てを受ける。
-------------------------------	--

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有・不均一サンプル有・サンプルの一部有・サンプル無・写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等
「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。 工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

ヘキサン →

熱媒輸送管

・ 反応工程で製品切り替えの際に、熱媒配管をヘキサンで洗浄しローリーで排出したもの。
・ 熱媒配管にヘキサンが誤って混合し、配管から脱液及び共洗い液をドラム缶へ移したものを。

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考
	令和 年 月 日	課	株式会社	株式会社にて収集運搬

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

記入例3 めっき工業 強アルカリ廃液

< 表面 >

管理番号 ****-**-****

廃棄物データシート(WDS)

1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 年 月 日

記入者

1 排出事業者	名称	鍍金株式会社		所属	部	
	所在地	〒****-****	県 市	担当者	TEL	****-**-****
		町 丁目 番号			FAX	****-**-****
2 廃棄物の名称	強アルカリ廃液					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載)	主成分				MSDSがある場合、CAS No.	
	苛性ソーダ(NaOH) 40~50% 他 グリセリン 5~10% 水 40~55%				1310-73-2 56-81-5	
分析表添付(組成)	成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。					
4 廃棄物の種類 産業廃棄物	汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ その他()					
	<input checked="" type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	引火性廃油	強アルカリ(有害)	鉱さい(有害)	廃アルカリ(有害)	
		引火性廃油(有害)	感染性廃棄物	燃えがら(有害)	ばいじん(有害)	
		強酸	PCB等	廃油(有害)	13号廃棄物(有害)	
		強酸(有害)	廃石綿等	汚泥(有害)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 強アルカリ	指定下水汚泥	廃酸(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には 混入有りは、 無しは×、混入の可能性があれば	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×)					
	水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×)					
	カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×)					
	鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×)					
	有機機化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×)					
	六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×)					
	砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×)					
	シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×)					
	PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・ <input checked="" type="checkbox"/> 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・ <input checked="" type="checkbox"/> 非該当) 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物 前駆物質	ヘキサメチレンテトラミン(HMT)		1,1-ジメチルヒドラジン(DMH)			
	N,N-ジメチルアニリン(DMAN)		トリメチルアミン(TMA)		テトラメチルエチレンジアミン(TMED)	
	N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA)		ジメチルアミノエタノール(DMAE)		1,1-ジメチルグアニジン(DMGu)	
8 その他含有物質 ()には 混入有りは、 無しは×、混入の可能性があれば	硫黄 (×)		塩素 (×)		臭素 (×)	
	ヨウ素 (×)		フッ素 (×)		炭酸 (×)	
	硝酸 (×)		亜鉛 (×)		ニッケル (×)	
	アルミ (×)		アンモニア (×)		ホウ素 (×)	
	その他 ()					
9 有害特性 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無・不明	爆発性		引火性()		可燃性	
	酸化性		有機過酸化物		急性毒性	
	毒性ガス発生		慢性毒性		生態毒性	
	その他()				自然発火性()	
					感染性	
					重合反応性	
					禁水性	
					<input checked="" type="checkbox"/> 腐食性	
10 廃棄物の物理的性状・化学的性状	形状()		臭い()		色()	
	沸点()		融点()		発熱量()	
					比重(1.4~1.5)	
					pH(12以上)	
					粘度()	
					水分()	
11 品質安定性	経時変化(有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無) 有る場合は具体的に記入					
12 関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・ <input checked="" type="checkbox"/> 毒劇物・悪臭 <input checked="" type="checkbox"/> 水質汚濁防止法指定物質					
13 荷姿	容器()		<input checked="" type="checkbox"/> 車両(パキューム車)		その他()	
14 排出頻度 数量	頻度(スポット・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定)					
	(6) Kg・t・リットル・ <input checked="" type="checkbox"/> m3・本・缶・袋・個 / 年・ <input checked="" type="checkbox"/> 月・週・日					

15	特別注意事項	<p>取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載</p> <p>(有・無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性 / 注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等 <p style="text-align: center; color: red;">アルカリ高濃度のため、水に希釈時の発熱に注意すること</p>
----	--------	--

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等
「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。 工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

排出者からの事前情報
発生工程: 亜鉛メッキ工場の脱脂工程より排出されたもの
提供資料: サンプル、分析結果
サンプルの状況: 固形物は少ないが、底部にスラッジが10～20%存在している
排出者からの要望: 特になし

受入時の確認状態
特記事項: 廃棄物の組成がロットによって異なっている

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考
	令和 年 月 日	課	株式会社	株式会社にて収集運搬

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

記入例4 クリーニング 溶剤蒸留残さ汚泥

< 表面 >

管理番号 ****-**-****

廃棄物データシート(WDS)

1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日	令和 年 月 日	記入者	
1 排出事業者	名称 株式会社 クリーニング	所属	部
	所在地 〒***-**** 県 市 町 丁目 番号	担当者	TEL ****-**-**** FAX ****-**-****
2 廃棄物の名称	溶剤蒸留残さ汚泥		
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) 分析表添付(組成)	主成分	プラスチック, 繊維 60%	MSDSがある場合、CAS No. テトラクロロエチレン 127-18-4
	他	活性炭 30% テトラクロロエチレン 5% 繊維・紙くず, 砂など 5%	
4 廃棄物の種類 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理 産業廃棄物	汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ その他() 引火性廃油 強アルカリ(有害) 銻さい(有害) 廃アルカリ(有害) 引火性廃油(有害) 感染性廃棄物 燃えがら(有害) ばいじん(有害) 強酸 PCB等 廃油(有害) 13号廃棄物(有害) 強酸(有害) 廃石綿等 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥(有害) 強アルカリ 指定下水汚泥 廃酸(有害)		
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは、無しは×、混入の可能性があれば 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン () チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)		
6 PRTR対象物質	届出事業所 (<input checked="" type="checkbox"/> 該当) 非該当、委託する廃棄物の該当・非該当 (<input checked="" type="checkbox"/> 該当) 非該当 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 テトラクロロエチレン		
7 水道水源における消毒副生成物 前駆物質	ヘキサメチレンテトラミン(HMT) 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) NN-ジメチルアニリン(DMAN) トリメチルアミン(TMA) テトラメチルエチレンジアミン(TMED) NN-ジメチルエチルアミン(DMEA) ジメチルアミノエタノール(DMAE) 1,1-ジメチルグアニジン(DMGu)		
8 その他含有物質 ()には混入有りは、無しは×、混入の可能性があれば 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 ()		
9 有害特性 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無・不明)	爆発性 引火性() 可燃性 自然発火性() 禁水性 酸化性 有機過酸化物質 <input checked="" type="checkbox"/> 急性毒性 感染性 腐食性 毒性ガス発生 <input checked="" type="checkbox"/> 慢性毒性 <input checked="" type="checkbox"/> 生態毒性 重合反応性 その他()		
10 廃棄物の物理的性状・化学的性状	形状(液状) 臭い(有り) 色(灰色) 比重() pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分()		
11 品質安定性	経時変化(有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無) 有る場合は具体的に記入		
12 関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭		
13 荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(オープンドラム蓋付き) 車両() その他()		
14 排出頻度 数量	頻度(スポット <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定) (200リットル × 10) kg・t・kg・m3・本・缶・袋・個 / 年(月・週・日)		

<p>15 特別注意事項</p> <p>(有・無)</p>	<p>取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性 / 注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性 (消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等 <p>・テトラクロロエチレンには毒性があり、揮発性し易いため、その蒸気を吸引しないように注意すること。</p> <p>・テトラクロロエチレンは環境中に排出されても安定であり、地下水汚染の原因物質の一つになっているため漏えいしないように注意すること。</p>
-------------------------------	---

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等
「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。 工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

排出者からの事前情報
発生工程： ドライクリーニングから排出されたパークロ溶剤の蒸留残さ
提供資料： サンプル
空容器の処分： 処理業者処分
排出者からの要望： 当社各店を月1回巡回して欲しい
受入時の確認状態
容器の状態： 正常
特記事項： カートリッジなどの金物やウエス、手袋などは分別・排出するように依頼する

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考
	令和 年 月 日	課	株式会社	株式会社にて収集運搬

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

記入例5 化学工業 ばいじん

< 表面 >

管理番号 ****-**-****

廃棄物データシート(WDS)

- 1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
- 2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 年 月 日

記入者

1 排出事業者	名称	株式会社			所属	部	
	所在地	〒****-****	県	市	担当者	TEL	****-**-****
		町	丁目	番		FAX	****-**-****
2 廃棄物の名称	排煙ダスト						
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載)	主成分	カーボン及び水が主				MSDSがある場合、CAS No.	
	他	硫黄 バリウム バナジウム ニッケル 鉄					
分析表添付(組成)	成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。						
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(ばいじん)						
特別管理 産業廃棄物	引火性廃油	強アルカリ(有害)	鉱さい(有害)	廃アルカリ(有害)			
	引火性廃油(有害)	感染性廃棄物	燃えがら(有害)	ばいじん(有害)			
	強酸	PCB等	廃油(有害)	13号廃棄物(有害)			
	強酸(有害)	廃石綿等	汚泥(有害)				
	強アルカリ	指定下水汚泥	廃酸(有害)				
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは、無しは×、混入の可能性があれば	アルキル水銀	(×)	トリクロイフェン	(×)	1,3-ジクロロプロペン	(×)	
	水銀又はその化合物	(×)	テトラクロイフェン	(×)	チウラム	(×)	
	カドミウム又はその化合物	(×)	ジクロロメタン	(×)	シマジン	(×)	
	鉛又はその化合物	(×)	四塩化炭素	(×)	チオベンカルブ	(×)	
	有機燐化合物	(×)	1,2-ジクロイタン	(×)	ベンゼン	(×)	
	六価クロム化合物	(×)	1,1-ジクロイフェン	(×)	セレン	(×)	
	砒素又はその化合物	(×)	シス-1,2-ジクロイフェン	(×)	ダイオキシン類	(×)	
	シアノ化合物	(×)	1,1,1-トリクロイタン	(×)	1,4-ジオキサン	(×)	
	PCB	(×)	1,1,2-トリクロイタン	(×)			
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当) 非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当) 非該当) 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。 バナジウム						
7 水道水源における消毒副生成物 前駆物質	ヘキサメチレンテトラミン(HMT)	1,1-ジメチルヒドラジン(DMH)					
	N,N-ジメチルアニリン(DMAN)	トリメチルアミン(TMA)		テトラメチルエチレンジアミン(TMED)			
	N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA)	ジメチルアミノエタノール(DMAE)		1,1-ジメチルグアニジン(DMGu)			
8 その他含有物質 ()には混入有りは、無しは×、混入の可能性があれば	硫黄	()	塩素	(×)	臭素	(×)	
	ヨウ素	(×)	フッ素	(×)	炭酸	(×)	
	硝酸	(×)	亜鉛	(×)	ニッケル	()	
	アルミ	(×)	アンモニア	(×)	ホウ素	(×)	
	その他	()					
9 有害特性 (有・無・不明)	爆発性	引火性()	可燃性	自然発火性()	禁水性		
	酸化性	有機過酸化物	急性毒性	感染性	腐食性		
	毒性ガス発生	慢性毒性	生態毒性	重合反応性			
	その他()						
10 廃棄物の物理的性状・化学的性状	形状(粘土)	臭い()	色(黒)	比重()	pH()		
	沸点()	融点()	発熱量(7080cal)	粘度()	水分(51%)		
11 品質安定性	経時変化(有・無) 有る場合は具体的に記入						
12 関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭						
13 荷姿	容器()	<input checked="" type="checkbox"/> 車両(水封ダンプ車)		その他()			
14 排出頻度 数量	頻度(スポット)	継続予定					
	(10)	kg	t	kg	m3	本	缶
							袋
							個
							3 / 年
							月
							週
							日

<p>15 特別注意事項</p> <p>(有・無)</p>	<p>取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 強い引火性があり、静電気など火源にさらさない。 難分解性物質で漏らさない。 ・他の廃棄物との混合禁止 酸化剤と混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性 / 注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等 漏れた場合に難分解性物質のため長く環境汚染となる。 ・取扱時必要な保護具 有機溶剤用保護マスク、ゴーグル型保護メガネ、耐油性ゴム手袋、耐油性長靴 ・応急処置 吸入時 皮膚付着時 目に入った場合 飲み込んだ場合
-------------------------------	---

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等
「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。 工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。 工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)

* 発電ボイラー煙道ガス回収「排煙脱硫装置」から発生のカーボンドスト

< 排出事業者及び処理業者内容確認欄 >

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考
	令和 年 月 日	課	株式会社	株式会社にて収集運搬

< 変更履歴 >

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容